

種智院大学 同窓会報

第32号

平成18年12月1日

種智院大学同窓会

〒612-8156

京都市伏見区向島西定請70 種智院大学内

TEL(075)604-5600 FAX(075)604-5610



平成18年度同窓会総会

平成18年度種智院大学同窓会総会は、平成18年7月29日(土)午後1時30分から母校講義室401で開催された。

総会に先立ち、昨年度亡くなられた諸先輩方の追悼のため、川崎龍性(昭和24)を経頭に物故者慰霊法要が営まれた。

総会では、最初に頼富学長から挨拶があり、大学への後援の感謝と、125周年記念行事や学園の活動の取組みについて述べられた。

続いて、議事の前に事務局の異動について、永年会計を担当した都筑事務局員が勇退し、高田良海(昭和58)が会計担当として事務局に入ったことが報告された。

議事に入り、座長に杉崎圓覺師(昭54)を選出。
1.審議事項①平成17年度事業報告(案)ならびに平成17年度決算(案)(監査報告含む)②平成18年度事業計画(案)ならびに平成18年度予算(案)③その他、2.協議事項①同窓会新規事業について②その他、3.報告事項①同窓会個人情報管理契約について②同窓会奨学金について③その他についてそれぞれ審議ならびに協議、報告された。

①平成17年度事業報告(案)ならびに平成17年度決算(案)(監査報告含む)について、別紙のとおり(2ページ参照)報告され、奨学金のための寄付の扱いについて、一般の寄付とは別個にすることで、承認。引き続き②平成18年度事業計画(案)

ならびに平成18年度予算(案)については、事務局の説明のあと、特に異議なく承認された。③その他審議事項は特に発議なし。

次に2.協議事項に入り、①同窓会新規事業については、同窓会活動の活性化のために公開講座などを大学と共催するための企画準備委員会の設置という、座長杉崎副会長から趣旨説明があり、了承された。②その他は発議なし。

3.報告事項は順番を換えて②同窓会奨学金給付について報告があり、奨学生にそれぞれ奨学金給付証が鷲尾会長から授与された。そして奨学生から一言ずつ各自勉学に励みたい旨のお礼の挨拶があった。①同窓会個人情報管理契約については、廣濟堂に委託する管理費について報告があり、質疑の後了承された。③その他については特になく、以上で総会を終了した。

続いて場所を移し、時雨亭文庫事務局長冷泉貴実子先生の記念講演があった。スライドを使用して、冷泉家の年中行事について伺った。特に正月の年始行事で、冷泉家の時雨亭文庫そのものを和歌の神として祭ることや、旧暦七夕の乞巧奠(きこうてん)では芸事の上達を願い、平安装束を身にまとい和歌を詠み彦星・織姫の神に奉ることなど、興味深いお話を伺った。

記念講演を終え、参加者全員で記念撮影の後、京都ホテルオークラに席を移して懇親会を行い、和気あいあいの中、来年の再開を約して散会した。

ごあいさつ

種智院大学同窓会会長 鷺尾 遍隆



師走の声を聞き、本年も次第に押し詰まって参りました。同窓会員の皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。平素は本会のため、また母校種智院大学のためにご高配をいただきたいへん感謝いたしております。

今年は、明治14年に種智院大学の前身である全真言宗の総覺が東寺の北に創立されてから125周年に当たり、さる11月には学園主催の記念祝賀会が開催されました。また、種智院大学においても、別途ご案内のとおり記念事業が行われます。同窓会といたしましては、母校のますますの発展を願い、これらの事業に協賛してまいります。会員の皆様もお誘い合わせのうえ、ぜひこの機会にお運びいただきたく存じます。

最後になりますが、会員の皆様のみならずのご隆昌をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

種智院大学学長 頼富 本宏



同窓会の会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。ご承知のとおり種智院大学は、仏教と福祉という二学科を軸にしております。仏教学科は、教理だけではなく、事相の面にも力を入れております。ご本山の協力も仰ぎながら加行・伝法灌頂も開壇し、より実践面の充実をはかっております。また、福祉につきましては、昨年度社会福祉学科と名前を変更しましたが、これは決して仏教の心を忘れたということではありません。新たな福祉の研究教育体制でより拡充をめざして努力してゆくつもりです。

個人的には、科学研究費の補助をいただき、今夏モンゴル(中国領内モンゴル自治区)へ調査に行く機会をいただきました。種智院大学として20年ぶりに調査団を組織できたこと、また、しだいに仏教が復興してきていることを目の当たりにして、とても励みになりました。よりいっそう大学が発展するよう努力したいと思います。

最後に、同窓会から多大なるご協力をいただいております。ことに奨学金では本年度両学科から2名ずつ、計4名の学生にご援助をいただきました。心から御礼を申し上げます。今後ともよろしく願い申し上げます。

平成18年度種智院大学同窓会総会出席者

| 卒業年等 | 氏名 | 卒業年等 | 氏名 | 卒業年等 | 氏名 |
|------|-------|------|--------|------|----------|
| 昭和23 | 法本 弘文 | 昭和54 | 原田 兼一 | 平成12 | シャキヤ・スダン |
| 昭和23 | 蓮沼 雅春 | 昭和54 | 和多田 良穂 | 平成12 | 田中 富三 |
| 昭和24 | 今井 圓明 | 昭和55 | 長谷 法寿 | 平成17 | 青木 倫裕 |
| 昭和24 | 川崎 龍性 | 昭和56 | 北尾 隆心 | 平成17 | 池上 聡一 |
| 昭和24 | 佐伯 龍幸 | 昭和56 | 坂根 秀明 | 平成17 | 南 宗法 |
| 昭和32 | 高松 龍暉 | 昭和56 | 宮崎 快堯 | 平成18 | 磯田 静子 |
| 昭和36 | 北村 太道 | 昭和57 | 宇垣 泰明 | 平成18 | 浦田 純子 |
| 昭和45 | 松尾 初子 | 昭和57 | 多田 剛士 | 平成18 | 早川 道子 |
| 昭和47 | 大林 教善 | 昭和58 | 高田 良海 | 平成18 | 松田 郁恵 |
| 昭和47 | 都筑 大乘 | 昭和60 | 南 本源 | 平成18 | 峯岸 澄夫 |
| 昭和50 | 國定 道晃 | 昭和60 | 吉田 大治 | | 頼富 本宏 |
| 昭和51 | 北村 祐道 | 平成02 | 大塚 知明 | 賛助 | 西崎 照明 |
| 昭和53 | 鷺尾 遍隆 | 平成02 | 沖津 祐照 | 賛助 | 宮城 洋一郎 |
| 昭和54 | 上原 雅明 | 平成08 | 湯通堂 法姫 | 賛助 | 兄玉 義隆 |
| 昭和54 | 内山 仁空 | 平成09 | 秋山 英之 | 賛助 | 明石 隆行 |
| 昭和54 | 岡田 幸恵 | 平成12 | 国本 武秀 | 賛助 | 佐伯 俊源 |
| 昭和54 | 杉崎 圓覺 | 平成12 | 黒木 隆英 | | |
| 昭和54 | 田中 榮心 | 平成12 | 嶋 悠海 | | |

平成17年度事業報告

- 1. 森見章会長葬儀
通夜 平成17年4月22日(金)18時
本葬 平成17年5月15日(日)13時 場所 持明院(会長自坊)
- 1. 同窓会会長・副会長会議(第1回・種智院大学同窓会奨学生選考)
日時 平成17年5月30日(月)13時30分
場所 種智院大学 第1会議室(2名)
- 1. 平成17年度 大阪支部総会ならびに懇親会
日時 平成17年6月4日(土)18時30分
場所 すたんど割烹日本(大阪市中央区)
- 1. 打合せ会議(鷺尾副会長)
日時 平成17年6月8日(水)10時 場所 石山寺
- 1. 会計監査
日時 平成17年7月4日(月)11時 場所 種智院大学 第3会議室
- 1. 事務局会議
日時 平成17年7月8日(金)19時30分 場所 京都駅前「がんこ」
- 1. 幹事会
日時 平成17年7月16日(土)11時 場所 種智院大学 第1会議室
- 1. 記念講演
日時 平成17年7月16日(土)13時30分
場所 種智院大学 講義室306 演題 人間の幸福と不幸
講師 昭和女子大学人間社会学部福祉環境学科教授 秋山智久 先生
- 1. 物故者慰霊法要
日時 平成17年7月16日(土)15時30分 場所 種智院大学 講義室401
- 1. 総会
日時 平成17年7月16日(土)15時40分 場所 種智院大学 講義室306
- 1. 懇親会
日時 平成17年7月16日(土)17時
場所 ホテルグランヴィア京都 古今の間
- 1. 平成17年9月度 卒業証書・学位記授与式
日時 平成17年9月22日(木)14時30分
場所 種智院大学 第1会議室 卒業記念品腕輪念珠(6名)
- 1. 会長・副会長会議(第2回)
日時 平成18年1月26日(木)13時
場所 種智院大学 第3会議室(4名)
- 1. 会報31号発行
発行日 平成18年3月10日(金)
- 1. 平成17年度 第53回卒業証書・学位記授与式
日時 平成18年3月15日(水)10時
場所 種智院大学 講堂
同窓会長賞 仏教学科 磯田静子
社会福祉学科 濱 慎吾
卒業記念品 腕輪念珠(115名)

【平成17年度決算書】

収入の部 (単位:円)

| 勘定科目 | 17年度予算 | 17年度決算 | 比較増減 | 備考 |
|---------|------------|------------|-----------|-----------------------|
| 会費 | 4,500,000 | 5,190,000 | 690,000 | @30,000×173 |
| 懇親会費 | 300,000 | 220,000 | △ 80,000 | @10,000×21名、@5,000×2名 |
| 寄付金 | 1,000,000 | 1,530,000 | 530,000 | 115件 別紙参照 |
| 受取利息配当金 | 1,000 | 6,513 | 5,513 | 定期・普通・郵貯利息 |
| 雑収入金 | 100,000 | 28,700 | △ 71,300 | 御祝等 |
| 未収入金 | 70,000 | 70,000 | 0 | 奨学金、会費 |
| 前年度より繰越 | 28,338,324 | 28,338,324 | 0 | |
| 合計 | 34,309,324 | 35,383,537 | 1,074,213 | |

支出の部 (単位:円)

| 勘定科目 | 17年度予算 | 17年度決算 | 比較増減 | 備考 |
|--------|------------|------------|-----------|---------------------|
| 人件費 | 100,000 | 30,000 | △ 70,000 | 総会のアルバイト等 |
| 総会諸費 | 300,000 | 200,000 | △ 100,000 | 記念講演、御礼、テープ起稿 |
| 懇親会費 | 300,000 | 208,845 | △ 91,155 | 懇親会費用一式 |
| 奨学金費 | 400,000 | 400,000 | 0 | 2名分 |
| 消耗品費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 事務用品等 |
| 印刷製本費 | 950,000 | 1,096,169 | 146,169 | 会報・総会案内等印刷費 |
| 通信費 | 350,000 | 357,010 | 7,010 | 郵送料等 |
| 会議費 | 250,000 | 236,466 | △ 13,534 | 会議費用 |
| 慶弔費 | 300,000 | 310,620 | 10,620 | 同窓会長賞、卒業生記念品、慶弔関係等 |
| 旅費交通費 | 400,000 | 179,310 | △ 220,690 | 各種会議、車馬費、懇親会場移動バス代等 |
| 広報費 | 300,000 | 0 | △ 300,000 | |
| 雑費 | 30,000 | 17,330 | △ 12,670 | 振込手数料等 |
| 未払金 | 221,380 | 221,380 | 0 | 業者支払分 |
| 次年度へ繰越 | 30,357,944 | 32,076,407 | 1,718,463 | |
| 合計 | 34,309,324 | 35,383,537 | 1,074,213 | |

平成18年3月31日
平成17年度、種智院大学同窓会の会計処理が正確に執行行われていることを認めます。
監査人 嶋 裕 海 (印)
監査人 佐野 剛 空 (印)

平成18年度事業計画 (執行分含む)

- 1. 第1回同窓会会長・副会長会議(種智院大学同窓会奨学生選考)
日時 平成18年5月26日(金)13時30分
場所 種智院大学 第1会議室(4名)
- 1. 会計監査
日時 平成18年6月30日(金)13時 場所 種智院大学 第3会議室
- 1. 打合せ会議
日時 平成18年7月7日(金)13時 場所 種智院大学 第3会議室
- 1. 平成18年度 大阪支部総会ならびに懇親会
日時 平成18年7月10日(月)18時30分
場所 すたんど割烹日本(大阪市中央区)
- 1. 事務局会議(第1回)
日時 平成18年7月27日(木)18時 場所 京都駅「がんこ」(8名)
- 1. 幹事会
日時 平成18年7月29日(土)11時 場所 種智院大学 第1会議室
- 1. 物故者慰霊法要
日時 平成18年7月29日(土)13時30分
場所 種智院大学 講義室401
- 1. 総会
日時 平成18年7月29日(土)13時40分
場所 種智院大学 講義室306
- 1. 記念講演
日時 平成18年7月29日(土)15時00分
場所 種智院大学 講義室204 演題 冷泉家の年中行事
講師 時雨亭文庫事務局 長 冷泉貴美子 先生
- 1. 懇親会
日時 平成18年7月29日(土)17時
場所 京都ホテルオークラ 晩雲の間
- 1. 平成18年9月度 卒業証書・学位記授与式
日時 平成18年9月22日(木)14時30分
場所 種智院大学 第1会議室 卒業記念品 腕輪念珠(5名)*
- 1. 会報32号発行
発行日 平成18年11月ごろ*
- 1. 平成18年度 第54回卒業証書・学位記授与式
日時 平成19年3月15日(木)10時
場所 種智院大学 講堂 同窓会長賞(2名)
卒業記念品 腕輪念珠(135名)*

*は予定

【平成18年度予算書】

収入の部 (単位:円)

| 勘定科目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 比較増減 | 備考 |
|---------|------------|------------|-----------|--------------|
| 会費 | 4,800,000 | 4,500,000 | 300,000 | @30,000×160名 |
| 懇親会費 | 315,000 | 300,000 | 15,000 | @7,000×45名 |
| 寄付金 | 1,200,000 | 1,000,000 | 200,000 | |
| 受取利息配当金 | 5,000 | 1,000 | 4,000 | 定期預金等 |
| 雑収入金 | 50,000 | 100,000 | △ 50,000 | |
| 未収入金 | 0 | 70,000 | △ 70,000 | |
| 前年度より繰越 | 32,076,407 | 28,338,324 | 3,738,083 | |
| 合計 | 38,446,407 | 34,309,324 | 4,137,083 | |

支出の部 (単位:円)

| 勘定科目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 比較増減 | 備考 |
|--------|------------|------------|-----------|--------------|
| 人件費 | 100,000 | 100,000 | 0 | アルバイト代 |
| 総会諸費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 総会諸費用・講師お礼 |
| 懇親会費 | 315,000 | 300,000 | 15,000 | @7,000×45名 |
| 奨学金費 | 800,000 | 400,000 | 400,000 | @200,000×4名分 |
| 消耗品費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 事務用品・コピー代等 |
| 印刷製本費 | 1,100,000 | 950,000 | 150,000 | 会報1回分等 |
| 通信費 | 360,000 | 350,000 | 10,000 | 総会案内・会報発送費 |
| 会議費 | 250,000 | 250,000 | 0 | 各種会議等 |
| 慶弔費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 各種慶弔電報・卒業祝 |
| 旅費交通費 | 400,000 | 400,000 | 0 | 各種会議交通費等 |
| 広報費 | 500,000 | 300,000 | 200,000 | |
| 雑費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 振替・銀行送金手数料 |
| 未払金 | 0 | 221,380 | △ 221,380 | 業者支払金 |
| 次年度へ繰越 | 33,941,407 | 30,357,944 | 3,583,463 | |
| 合計 | 38,446,407 | 34,309,324 | 4,137,083 | |

同窓会員紹介

今回は、種智院大学初の留学生として来日して仏教学を研究され、このたび東北大学大学院で博士の学位を取得されたシャキャ・スダン師をご紹介させていただきます。



シャキャ・スダン師略歴

ネパール・パタン市出身。平成8(1996)年来日し、種智院大学に入学。北村太道教授にご指導を仰ぎ、密教学を専攻。在学時には特待生に選考され、卒業時には学業賞、論文賞を受賞など優秀な成績を修める。その後東北大学大学院に進学し、桜井宗信教授に師事しインド学仏教史を研究。本平成18年9月『nāmasaṃgītiの研究』の論文が評価され、博士(文学)の学位を授与された。

いっぽう、平成14年得度、18年9月に四度加行成満、12月には総本山善通寺で伝法灌頂入壇予定など、真言宗僧侶としても研鑽されている。

現在は、研究のかたわら母校種智院大学で非常勤講師として教鞭を取り、「国際化と日本社会」、「仏教英語」、「密教文化学」などを担当されている。

●日本に来られたきっかけを教えてください。

北村太道先生との出会いがきっかけです。先生に日本で仏教学の勉強を勧められました。それまでは物理学を専攻していました。

●日本での生活で、習慣のちがいなどでおどろいたことなどはありましたか？

来日した当初は、何を食べても甘く感じて和食になじみませんでしたが、今は和食が大好きになりました。

●種智院大学の感想はどうですか？

最初は小さいので驚きました。でも、先生と学生の距離が近く、アットホームな大学でしたのですぐになじみました。

●東北大学大学院に行かれた感想はいかがですか？また、仙台での生活は？

東北大学大学院でもよい教官や先輩方に恵まれ、いろいろと教えていただきました。より深い研究ができたと思います。

また、京都では「ふぶき」という言葉を聞いたことがありませんでしたが、仙台に行って初めて耳にしました。

●今はどのようなことを研究されていますか？

インド・チベットの仏教文献、特に密教経典及び註釈書の研究です。

●今後の抱負をお願いします。

仏教文献と共に現地調査を行ない、生きた仏教文化の発展維持に努めたいと思います。さらに、自分の経験、知識を活かして日本とネパールの架け橋として活躍できたらと考えているところです。

●種智院大学同窓会へのコメントをお願いします。

多くの諸先輩方からのお力添えのおかげで充実した学生生活を送ることができました。これからも研究に励んでいくことで、少しでも恩返しになれば幸いです。

どうも有り難うございました。これからのご活躍を期待しております。



※同窓会報では、各方面で活躍されている会員の方々の一部をご紹介させていただきたいと思っています。お近くの会員で、特にご活躍の方がいらっしゃいましたらご一報いただければ幸いです。

泉涌寺長老に上村貞郎師就任並びに新内局発足

京都市上京区東向観音住職の上村貞郎師(昭和36年)は、総本山御寺泉涌寺の川村俊朝長老の辞任に伴い長老候補者に推挙され、他の候補者が辞退したため、同寺長老ならびに真言宗泉涌寺派管長に就任された。上村長老の入山式は、平成18年9月11日午前10時から行われた。仏殿で開山月輪大師への御法楽の、後大衣継承の儀により歴代長老に受け継がれる法衣を川村前長老より拝受された。その後、諸堂・御陵等に参拝し、新内局への辞令交付をもって閉式した。

なお、新内局には、同窓会員から執事・財務部長に市橋朋幸(山内雲龍院住職 昭和59年)、執事・法会部長に渡邊恭章(山内戒光寺住職 昭和63年)の各師が就任された。

上村長老略歴

京都市上京区御前通今小路上の観音寺(通称東向観音)住職。昭和13年7月28日生、68歳。昭和36年種智院大学卒業。48年より観音寺住職。49年より宗会議員、平成10年より宗会議長を務める。平成13、15、17年後七日御修法出仕。宗外では、昭和62年より永年にわたり保護司をつとめ、また、自治連合会、社会福祉協議会、自主防災会等の地域各会長を歴任。書家としても後進の指導に尽くされている。

平成17年度同窓会長賞

平成17年度卒業生の中で、学業成績だけではなく、在学中に人物的評価ができる、あるいは大学や社会的に功労のあった卒業生の顕彰を目的とする「種智院大学同窓会会長賞」に、種智院大学から候補者の推薦があった。同窓会会長・副会長会議で審査の結果、仏教学科からは磯田静子さんと、社会福祉学科からは濱慎吾氏の2名の受賞が決まった。

磯田さんは、55歳で入学し、常に向学心に燃え、4年間にわたって熱心に講義に取り組み、学業成績も優秀であった。また学内の宗教行事等にも積極的に参加し、

若い学生の面倒もよくみており、良き理解者としての信頼も厚い。

またもう一人の濱くんは、4年間にわたり、学業に真摯に励み、学内ではサッカー部のキャプテンとして活躍した。また、学外においてもボランティア活動にも積極的に参加し、同輩・後輩からもたいへん信頼されていることが受賞の理由である。

二人に対しては、平成18年3月15日の卒業証書・学位記授与式の中で、鷲尾会長から賞状と記念品が授与され、会場から暖かい拍手で祝福された。

会員消息

慶事 心からお慶び申し上げます

木次亜寿佐 様(平成18年)平成18年4月8日ご結婚
 嶋 悠海 様(平成12年)平成18年6月23日ご結婚
 山下 高仙 様(昭和62年)平成18年5月14日諸堂落慶
 志村 文壽 様(平成16年)・
 早苗 様(旧姓樽沼 平成16年)平成18年6月11日ご結婚
 嶋 暁之 様(平成13年)平成18年10月16日ご結婚
 石本 隆芳 様(平成11年)平成18年11月2日ご結婚
 倉嶋 慶秀 様(平成12年)平成18年11月5日ご結婚
 星 孝芳 様(平成13年)平成18年11月11日ご結婚
 佐野 剛空 様(昭和60年)平成18年11月12日晋山

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

三枝 快猛 様(昭和17年)平成18年春ご逝去
 土井 富直 様(昭和13年)平成18年5月30日ご逝去
 大久保天海 様(準)平成18年3月ご逝去
 丹生 裕幸 様(昭和24年)平成18年8月22日ご遷化
 市橋 真明 様(昭和25年)平成18年8月31日ご遷化
 須方 智證 様(準)平成18年10月30日ご遷化

平成18年度種智院大学同窓会奨学生

平成18年度種智院大学同窓会奨学金について、学内選考の審査をへて種智院大学より4名の候補者の推薦があった。これを受けて、同窓会正・副会長会議を開催し、審議の結果、下記の4名を選考した。(氏名ならびに感謝の言葉)

仏教学科 3年 浅川 貴子

このたびは、同窓会奨学金をいただきまして、誠にありがとうございました。今回、縁あって仏教を学ぶことになり、不安もありますが、与えられた機会に感謝しております。そして、皆様方のご厚意に恥じぬように勉学に励みたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

仏教学科 3年 中島 伸吾

私は、一度大学を卒業し、社会人を経験してから、また今年編入させていただきました。同窓会の皆様のご寄付からいただきましたこの奨学金は非常に助かります。これを糧に、今後も勉学に励んでいきたいと思っております。今回はどうもありがとうございました。

社会福祉学科 2年 明智 博之

私は、視覚障害を持っております。このたび奨学金をいただいて、本当に嬉しく思っています。私は、教科書や本を読むときテレビに映すような、拡大読書機という高額な器具を使わないと一般の方と同じようにできません。この奨学金は器具の購入にたいへん役立ちますので、本当に感謝しております。これからも頑張っていくたく存じます。

社会福祉学科 2年 中田 有紀

私は高校の頃から児童相談所の関係もあり、社会福祉を大学で勉強していこうと自分で決めました。でも辛いときもあり、福祉とこれから向き合っていけるのかと自問自答したときに、この皆様の温かい思いを糧として、これからも一生懸命頑張っていくたいと思います。ありがとうございました。

大学だより

宗教実体験ツアー

種智院大学では、実体験を通じて宗教にアプローチすることを目的として、平成18年度宗教実体験ツアーとして9月9日から10日にかけて奈良県吉野の大峰山入峯を実施した。

参加者は学生だけでなく、同窓生や教職員、その他一般からも参加があり21名であった。また、これと



は別に先達として同窓生の大家知明(平成2)・青木倫裕(平成17)両師の協力をいただいた。

参加者のほとんどは大峰山に登ったことがなく、初めての経験ばかりだった。特に真夏にもかかわらず身を切るような水行の冷たさ、岩場にしがみついで登る表・裏の行場、はるかに谷底まで見えてしまう覗き修行など。下山したときには全員一様に疲れていたが、それぞれ納得したような笑顔があった。学生たちは、呼びかけに断りきれず参加したが、入峯してみて、思っていた以上に貴重な体験ができたとの意見が大半であり、おおむね好評であった。

今回の実施をふまえて次年度以降、さらに有意義な企画として実施し、同窓会員にも参加してもらえるよう、宗教部として取り組みたいとのことである。

学園得度式

平成18年度の学園得度式は、7月1日(土)午前9時30分、種智院大学(種智院道場)において学長戒師のもと執行された。今年は、6名の受者が得度した。式終了後、戒師の頼富学長から「本日ここに、新たに6名が弘法大師の弟子となった。受者には今日の感動を忘れ



ることなく精進してほしい」と訓戒を述べられた。受者を代表して爲末慈宏師が「今日は学長先生をはじめ、多くの先生方のおかげで得度を受けさせていただいたことを心から感謝しています」とお礼の言葉を述べて、得度式は無魔成満した。

爲末 慈宏(東寺宗・頼富本宏)
郡司 真顯(単立・郡司照明)
多田 直弘(高野宗・多田剛士)
佐々木 智教(真言律・佐伯俊源)
稲村 華心(東寺宗・頼富本宏)
酒井 友桜(泉涌寺・渡邊恭章)

()内は宗派・師僧名

学園加行・学園伝法灌頂

種智院大学では、在学生・卒業生などを対象に夏期・春期休暇期間を利用して四度加行を実施している。平成18年度(第9期)は、総本山西大寺護国院を道場に借用し、伝授阿闍梨頼富本宏学長、御手替添野智讓教授のご指導により三宝院流憲深方で行われている。夏期休暇期間を利用した前期(十八道・金剛界)では、5名の行者が結願している。後期は春期休暇期間に行われ、3月2日成満の予定である。

また、平成17年度学園伝法灌頂は、平成18年3月11日に総本山西大寺愛染堂を道場に、未明より關伽汲、鎮守読経、午前8時30分から庭儀三摩耶戒、午後2時初夜(金剛界)上堂、午後8時後夜(胎藏界)上堂、翌12日午前1時に無魔成満した。

この加行、伝法灌頂は、加行監督あるいは職衆として多数の教職員・同窓生・在学生の協力のもとに実施されている。特に、添野教授のご指導により、壇線や受者に授けられる金剛線や齒木などはすべて事前に職



衆たちの手によって作られている。声明も、潮弘憲教授にご指導いただきながら、本当に手作りの伝法灌頂といえるものである。

17年度入壇者(宗派・師僧名)
辻村 泰俊(真言律・辻村泰範)
安井 崇道(泉涌寺・安井崇兼)
木村 宗弘(山階・木村龍弘)
大角 真照(東寺宗・頼富本宏)
浦田 純恵(真言律・佐伯快勝)
古川 妙祐(東寺宗・頼富本宏)



なお、平成18年度学園伝法灌頂は、平成19年3月9日開壇の予定で、申込を現在受け付けている。申込の資格は、四度加行を成満していること。

◎詳細は種智院大学宗教部まで

☎075-604-5600(代)

■ 種智院大学 学園祭 ■

平成18年11月19日(日)母校種智院大学で綜藝祭が行われた

今年の綜藝祭は、人生の刺激として悪にはするのではなく、人と接し笑いあうことにより世界観が広がり少しでも前向きに楽しく自分の道を見つけてほしい。また、つらいとき、くじけそうなときこそ、楽しくみんなで笑い合えるようにとの趣旨から、「楽笑(らくしょう)《人生楽しまなきゃ!!》」というテーマで開催された。当日は、よしもとお笑いライブをはじめ多彩なイベントが盛り沢山で、特にビンゴ大会では、なかなかビンゴになる人が出ず一同白熱していた。「あいにくのお天気でしたが、同窓生はもちろん、近隣の方や、大阪、滋賀、神戸、遠くは岐阜などからも大勢足を運んでいただくことができました」(小長谷委員長)と、学園祭実行委員会も非常に感激していた。



入 試 案 内

■ 平成19年度 入学試験日程

| 入試種別 | 試験日 | 出願期間 | 試験科目 |
|-------------|------------------------------|-------------------|--|
| 指定校推薦 2 | 12/17(日)本学会場 12/18(月)東京会場 | 11/28(火)~12/12(火) | 作文※・面接 |
| 一般公募推薦 2 | | | 文章表現 |
| 宗門関係者入試 3 | | | 文章表現・面接 |
| 編入学試験 3 | | | 小論文※・面接 |
| 社会人入試 3 | | | |
| センター試験利用入試A | 個別試験なし | 1/9(火)~2/6(火) | 国語は必須 理科を除くその他の科目→1科目選択 |
| センター試験利用入試B | | 2/26(月)~3/12(月) | 計2科目 |
| 一般入試1(作文型) | 1/28(日) | 1/9(火)~1/23(火) | 文章表現 |
| 宗門関係者入試 4 | | | 文章表現・面接 |
| 編入学試験 4 | | | 小論文※・面接 |
| 社会人入試 4 | | | |
| 一般入試2(教科型) | 2/24(土) | 2/6(火)~2/20(火) | 国語(国語総合<現代文のみ>)歴史(日本史B・世界史Bより1科目選択)外国語(英語I・II)から2科目を選択 |
| 宗門関係者入試 5 | | | 文章表現・面接 |
| 編入学試験 5 | | | 小論文※・面接 |
| 社会人入試 5 | | | |
| 一般入試3A(教科型) | 3/14(水) | 2/26(月)~3/12(月) | 国語(国語総合<現代文のみ>)歴史(日本史B・世界史Bより1科目選択)外国語(英語I・II)から2科目を選択 |
| 一般入試3B(作文型) | | | 文章表現 |
| 宗門関係者入試 6 | | | 文章表現・面接 |
| 編入学試験 6 | | | 小論文※・面接 |
| 社会人入試 6 | | | |

※は出願時提出

一般入試2、3A及びセンター試験利用入試A・Bは奨学金給付生選抜を兼ねています。

◎成績優秀者には入学後、奨学金を給付いたします。

第1種：初年度授業料相当(72万円)

第2種：初年度授業料半額相当(36万円)

第3種：入学金相当額(20万円)

大学案内・入学願書について

ハガキまたはお電話(FAX可)、ホームページから入試課へご請求ください。

種智院大学入試課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610

<http://www.shuchiin.ac.jp/>

INFORMATION

種智院大学同窓会では、会員の皆様の個人情報保護に努めております。ただし今後とも従来どおり種智院大学・学校法人真言宗京都学園から各種案内郵送の申し出があれば、会員の皆様へご案内文等を送付することがあります。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。